

西高だより

人事異動 退任・離任される皆さんから

三月の定期人事異動で7名の皆さんが退任または離任されることとなりました。3月24日木の離任式で思いを語っていたばかりですが、西高だよりに改めてお別れの



離任式で花束を受け取る高垣事務長

挨拶を書いていただきました。

高垣一成事務長（退任）

50年前の4月、高校に入學しました。50年後、西仙北高校で退職となります。41年のサラリーマン生活で出会った、皆さんも含め色んな人に感謝しています。

交通安全に心がけ、健康に気をつけ、安心して生活できるように祈念します。ありがとうございました。

坂本卓也先生

（横手高校定時制教頭へ）

令和三年度 卒業証書授与式



卒業証書を一人ひとりに授与

3月1日（火）に令和3年度卒業証書授与式が行われました。

普通科29名の生徒一人ひとりに校長先生から卒業証書が手渡され、校長式辞では、「世界を、この世の中を、今よりもっと良くするために、これから自分が何ができるか、何をしたらよいかを考えてほしい。」「自分一人の考えで世界を変えることなんてできないとあきらめてはいけません。」とメッセージが伝えられました。

小松隆明後援会会長からの祝辞に続き、現生徒会長大釜彩音さん（2A）による送辞、前生



答辞を述べる本多千智君

徒会長本多千智君（3A）による答辞と続きました。
コロナ禍の中でしたが、感染症対策を徹底しつつ保護者の方や在校生も式に参加し、ともに卒業生の門出を祝いました。

「自分の選択は正しいのか、間違っているのか」以前は迷うことがよくあった。過去形なので「今は迷うことがない」と聞こえそうだがそうではない。「迷った時にどちらを選択しても、正解でも不正解でもない」と気づいただけである。

冒頭から意味不明な文章になったが、「今、胸を張って生きることで生きていけば、それまでの道のりが肯定される」と知った。つまり、「選択が正しかったかどうかは、選択した時点ではなく、その後の生き方で正解と不正解に振り分けられる」のだと考えている。

西仙北高校で8年間を過ごし、そのすべてが正しかったと言えるほどの生き方は全くできていないが、「新たな勤務地で新たな仕事をせよ」との命令が来た。自分の持ちうる限り（できれば+α）で取り組み、後から振り返った時に胸を張れるよう努力しようと思ふ。

自分自身で「正解だった」と振り返られるようにしたいと思う。自身への思いと同様に、生徒の皆さん、職員の方々の西仙北高校での新たな1年も「正解だった」と言える素晴らしいものになることを願っている。

黒田知孝先生（本荘高校へ）

4年間、往復3時間かけて通勤してきました。冬の通勤は辛く「もういやだ」と何度も思いました。でも、学校に来ると生徒の皆さんの明るさと素直さに支えられ、充実した日々を過ごすことができました。特に体育では、「先生一緒にやろ」と声をかけてもらい、楽しく授業を行うことができました。西高生の皆さんの今後の活躍を陰ながら応援しています。本当にありがとうございました。

2年間お世話になりました。

佐々木一事務長補佐

（岩城少年自然の家へ）
2年間お世話になりました。

自然を感じられる西仙北高校では、ゆつくりと過ごすことができました。これからの皆さんの学校生活が、より充実したものになることを願っています。

小松敬行技能主任

（栗田支援学校へ）

3年間、本当にお世話になりました。二度目の西仙北高校での勤務でしたが、生徒の皆さんが学校の設備、備品を大切にしてくれたおかげで、あまり修繕をせずに済みました。感謝しています。ありがとうございました。

田中光三技師（退職）

3年間、お世話になりました。孫のような生徒の皆さんと過ごすことができて大変楽しかったです。ありがとうございました。

高安明就職支援員（退職）

10ヶ月の任期でしたが、生徒（卒業生）の皆さんがしっかりと目標のもと、それぞれの進路に進むことができたのはたいへん嬉しいことでした。これからの人生は長い道のりです。しっかりと前を向いて歩んでください。今しかできないこと、これからすること、よく考えた行動をしましょう。

刈和野大綱米プロジェクト

大綱



刈和野大綱引きを若い世代に身近に感じてもらうために今年度から始まった刈和野大綱米プロジェクトですが、本来であればそのクライマックスとなるはずの刈和野大綱引き祭りが、今年もコロナ禍のため中止となってしまいました。

しかしその代わり、刈和野駅



前の大綱展示場改築に伴い中に飾る大綱のレプリカも新たに作る事となったため、その綱よいを西仙北中学校と本校の生徒が行うこととなりました。

綱よい作業は、3月3日(木)、旧西仙北西中学校体育館を会場に行われました。午前中に西仙北中学校の生徒が雄綱を作り、



午後から本校の1、2年生で雌綱を作りました。

刈和野大綱引保存会の指導員の皆さんの指導のもとで、長い綱に横一列になって手をかけ、かけ声とともに力を合わせて転がしながらよいをかけていきます。「ジョヤサー」のかけ声とともに、何度も何度も繰り返して転がしていくと、次第に綱ができていきました。

こうして3本の綱によりをかかけ終わると、これらを1本に編み込んでいきます。重い綱を持ち上げて編み込んでいく作業は、皆で力を合わせないとうまくいきません。

今回作った綱は本番用の綱の半分の長さといつていいのですが、その太さには圧倒されました。完成した綱は、この先20年ほど、刈和野駅前の大綱展示場に飾られる予定です。

午後から本校の1、2年生で雌綱を作りました。

刈和野大綱引保存会の指導員の皆さんの指導のもとで、長い綱に横一列になって手をかけ、かけ声とともに力を合わせて転がしながらよいをかけていきます。「ジョヤサー」のかけ声とともに、何度も何度も繰り返して転がしていくと、次第に綱ができていきました。

こうして3本の綱によりをかかけ終わると、これらを1本に編み込んでいきます。重い綱を持ち上げて編み込んでいく作業は、皆で力を合わせないとうまくいきません。

今回作った綱は本番用の綱の半分の長さといつていいのですが、その太さには圧倒されました。完成した綱は、この先20年ほど、刈和野駅前の大綱展示場に飾られる予定です。

大綱のレプリカが完成

午後から本校の1、2年生で雌綱を作りました。

刈和野大綱引保存会の指導員の皆さんの指導のもとで、長い綱に横一列になって手をかけ、かけ声とともに力を合わせて転がしながらよいをかけていきます。「ジョヤサー」のかけ声とともに、何度も何度も繰り返して転がしていくと、次第に綱ができていきました。

こうして3本の綱によりをかかけ終わると、これらを1本に編み込んでいきます。重い綱を持ち上げて編み込んでいく作業は、皆で力を合わせないとうまくいきません。

今回作った綱は本番用の綱の半分の長さといつていいのですが、その太さには圧倒されました。完成した綱は、この先20年ほど、刈和野駅前の大綱展示場に飾られる予定です。

特活だより

オミクロン株の感染流行に伴い1月25日から運動部の活動は原則として禁止されていましたが、3月から段階的に再開できることになりました。

早速学年末考査あけから各部とも活動を再開させ、皆で生き生きとして練習に励んでいます。放課後の校内に以前のような活気が戻ってきました。

野球部

約2ヶ月間の活動禁止期間が明けて、まだ制限がありますが練習が再開されました。冬の期間にやりましたこととはたくさんありますが、少しでも補えるように頑張ります。当面の試合の予定は次の通りです。

- 3/27(日) 対金足農業 (練習試合)
- 4/3(日) 対横手城南 (練習試合)
- ☆リーグ戦日程
- 4/9(土) 対大曲
- 4/16(土) 対湯沢
- 4/17(日) 対湯沢翔北
- ここまでが4校連合(羽後・大農太田・六郷・西仙北)での活動となります。(顧問 佐藤俊平)

卯月の行事

- 4月
- 5日 新任式・始業式 整容指導・式場準備 新年度のスタートです。
- 新しい先生方からご挨拶をいただきます。
- 6日 入学式
- 新しい仲間(後輩)がやってきます。
- 7日 課題テスト・生徒会入会式・部活動紹介 生徒会や各部活動に新入生をあたたく迎え入れましょう。
- 8日 身体測定・個人写真撮影 新入生オリエンテーション 個人写真は受験の書類等に使用します。整容を整えておきましょう。
- 8日/18日 面接週間 面接を通じて自分の目標や課題を確認しましょう。不安なことは相談しましょう。
- 12日 全校委員会・尿検査
- 13日 耳鼻科検診
- 14日 内科検診
- 19日 e-ネット安心講座 インターネット使用上のルールやマナーを確認しましょう。
- 20日 生徒総会 生徒会活動を盛り上げるため積極的に意見を申し上げます。
- 21日 PTA評議員会
- 22日 眼科検診
- 27日 PTA総会 県南総体壮行会・歯科検診 保護者の皆様の参加をお待ちしています。壮行会は保護者の方に参観していただきます。